



# ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局  
VOL54 平成21年1月



## 今こそ私たちが社会に示す大切なもの

平成20年8月アメリカのサブプライムローンの破綻をきっかけに、アメリカ経済の金融危機が起こり、それが一瞬のうちに全世界へ波及しました。

日本でもその影響は大きく、自動車をはじめとする輸出産業は円高とあわせてのダブルパンチを受けました。この経済危機は、平成21年には私たちの家庭の経済においても強い影響を与えようと思います。

そして医療福祉の世界もその不況の影響を受けようと思います。人によっては体調が悪くても病院へ行かないで我慢をする人もあるでしょうし、家族に十分な介護をしてあげたくても経済的な理由でそれがしてあげられなくなる家庭も出てくると思います。

医療福祉の世界ではただでも赤字で国の税収入が少なくなれば、当然診療報酬、介護報酬の増加は期待できません。平成21年には介護報酬の改善がなされるとのことですが、介護士などのスタッフの仕事に十分な待遇を可能にするものではありません。給食の材料費、光熱費、人件費も上がります。一方では患者さん、介護保険利用者の皆さんへのサービスの低下は絶対に避けることが出来ないのが問題です。それどころか医療の質、介護のサービスの質はますます競争が激化しています。

しかしながらこの不景気な時代がすべて悪いわけではありません。景気がよく、時代が猛スピードで動いているときには足元をじっくりと見ることも出来ないのです。そして速いスピードで発展してきたときと違い、今はじっくりと足元を見ながら、一步一步確実に歩んで進むことが出来るのです。私たち個人個人も、社会全体としても景気の良いときには贅沢をしながら無駄に物を使っていたかもしれません。(飽食、食べ残し、過度の冷暖房など...) 不景気なときこそすべてのものの価値を見直し、質素な食べ物(その多くは健康的)で、質素な暮らしが出来るチャンスであり、会社も無駄を見直し節約の大切さに気づくチャンスでもあるかもしれません。それは、とりもなおさず私たちの健康を見直し、心身の健康を取り戻す機会だと思えます。

耐えることによって本物の価値観が見つかると思います。この緊急危機、不景気をポジティブに受け取り、ポジティブに生きるようにしたいものです。

そして出来れば私たち医療福祉に身をおくものは、今こそ私たちの医療介護の実践で常に価値が変化する金銭的、経済的なものと異なった、絶対的な価値のある“心”“思いやり”“愛”の大切さを社会に示したいものです。



医療法人 真誠会  
社会福祉法人 真誠会  
理事長 小田 貢

# 平成21年の真誠会セントラルクリニックの目標

平成 20 年は真誠会の創立 20 周年でした。平成 20 年 9 月 28 日には米子全日空ホテルに於いて聖路加国際病院理事長、医療法人真誠会名誉理事長 日野原重明先生をお迎えして「医療法人真誠会創立 20 周年記念式典」を行なうことが出来ました。本年、平成 21 年は真誠会にとって次の 20 年という新しい時代の出発点に立ったこととなります。

平成 21 年真誠会セントラルクリニックの医療活動の重点項目は次のようなものです。



## 1.透析施設オアシス・透析について:

現在では高齢の透析患者さんは一般病院では長期の入院は出来ませんし、自力での通院透析が困難な患者さんがたくさんおられます。真誠会では送迎や、施設入所での透析を行なっています。特に透析患者さんの施設入所の受け入れは鳥取県でも非常に少ないのですが、これからも継続して行きたいと思います。

## 2.在宅医療、訪問診療の強化について:

これからは高齢者の長期入院どころか長期の施設入所さえ困難な時代になってきますので、在宅医療、訪問診療にも力を注ぎたいと思います。

## 3.ホスピスケア、終末期医療について

ホスピスケア、癌などの終末期医療についても病院からの紹介を積極的に受け入れており愛情をこめて看護をし、患者さん一人一人にとって人生最後の時間を大切に過ごしていただいています。平成 20 年には約 20 人のターミナルケアを行いましたので、真誠会は小さなホスピスとも言えます。

## 4.難病・人工呼吸器ケアについて:

平成 20 年から神経難病 (ALS: 筋萎縮性側索硬化症など) や慢性呼吸不全などの患者さんで人工呼吸器をつけた患者さんの受け入れも増えており、今後は人工呼吸器をつけられている患者さんの在宅医療も含めた切れ目のない医療サービスを行いたいと思っています。

## 5.睡眠時無呼吸症候群の精密検査について:

平成 20 年より睡眠時無呼吸症候群の精密検査、診断ができるシステムを確立しました。この睡眠時無呼吸の精密検査診断ができる施設は、鳥取県西部地区ではまだ少ないのですが、睡眠時無呼吸の可能性のある患者さんの数は多いので、啓発活動、医療支援活動を活発に行ないたいと思います。

## 6.健診センター・健診と予防接種について:

真誠会健診センターは、平成 20 年は約 7000 人の健診を行ないました。平成 21 年には 8000 から 9000 人の健診、平成 22 年に 10000 人の健診規模にしたいと思っています。また健診と同時にメタボリック症候群の保健指導、2000 人規模のインフルエンザワクチン接種を行いたいと思っています。

新年あけましておめでとうございます

真誠会創立 20 周年の記念すべき年も明け、心も新たに 21 年目を歩きました。

創立時は長寿社会に向けての再建、良質で効率的なサービスが重視され、外部評価が開始するなど、医療福祉の政策が大きく変化した時代でした。誠実で真実を求める清らかな精神文化を携えたホスピタウンの河は、時代の変化に対応しつつ加速し、山野を駆けめぐり、その後太い幾つかの流れを生産し、激流となって方円の器からあふれんばかりの真誠会のエネルギーが放出されました。そして宇宙のような大海に注いだ今、業界屈指のビューティフルカンパニーを形成し、広く社会からの尊敬と信頼という最高の勲章を得るに至りました。

20 年を振り返りますと、小田理事長は時代の要請の研ぎ澄まされた先見性と、決断力と果敢な行動力でもって今日の真誠会と医療福祉の業界を牽引してこられました。変革と決断の方程式を連続で遂行してこられたと認識します。そして何よりも経営の原点であります『人々をしあわせにすること』『愛と人間愛に基づく』という哲学が、多くの職員の魂に響き、人間性の尊重と、助け合いの精神の健全な職場作りへと発展、そのことが強い生命力と高い生産性を育む原動力になったと実感します。

21 年目の新年を機に、今の真誠会の強みを振り返ってみました。

#### 1. 徹底した顧客主義に関しては

- \* 予防事業開始により、全ての介護保険サービスを取り揃え、医療・介護の必要な利用者様に必要とするサービスを提供する基盤があります
- \* 感動ある医療福祉の深く意味するものが確実に具現化され、内外に影響を与えています
- \* 真誠会教育理念である、愛、やさしさ、厳しさをもったサービス提供の姿勢があります

#### 2. 社会貢献、社会責任に関しては

- \* 理事長自らが、新たな社会のモデル作りをされようと NPO 法人がいなネットなどのボランティア活動をされ、また、職員のボランティア精神が育成され活動が活性化しています
- \* もの忘れ 110 番、介護相談を年中無休で受付、地域に貢献しています
- \* 健康クラブ開設で、健康の維持、増進の機会を広く社会に提供しています

#### 3. 信頼に関しては

- \* 職員の成長を支援する多種多様な教育環境が整備されています
- \* 提供するサービスの質は、十分に外部評価に対応できるレベルであります
- \* 認知症ケアは、30 人の認知症ケア専門士を中心に、レベルの高いパーソンセンタードケアを提供しております
- \* 外部のあらゆる種類の研修生を受け入れるだけの厚い指導層が存在します

#### 4. 革新、イノベーションに関しては

- \* 厚生労働省が力を入れている地域密着型小規模多機能ホームの機能は社会で高いレベルで評価されています
- \* 助け合いの町作りを基本とする福祉の輪、行政との協働の輪を構築されつつ、また弓浜助け合いネットワークを通して、安心して暮らせる街づくりを目指しています
- \* 情報通信網が整備され、IT 化が発展しています

私たちは、今年もまた、時代のど真ん中に身をおくことの厳しさの中で、濁流にのみこまれないように真誠会の文化を堅持し強みをさらに進展する責務があります。幸い胸を張って誇れる多くの職員の方ばかりです。職員一人一人が自分の本分を心得、仕事というある種のプライドをもちながら、その延長線上に真誠会の理念、方針を実行していく覚悟をもち、牛歩の如く着実に前進してまいりたいと思います。

今年もよろしくお願い致します。



看護・介護統括部長  
森本靖子

## 睡眠と健康について考える市民公開講座in米子 いびきとメタボは赤信号!

平成 20 年 11 月 30 日 (日)、米子全日空ホテルにて睡眠時無呼吸症候群 (SAS) についての市民公開講座が開かれました。特別講演の講師は、筑波大学大学院人間総合科学研究科睡眠医学講座教授 佐藤誠先生でした。

睡眠時無呼吸は睡眠時に気道が閉塞したりして、本人が自覚しない状態で睡眠不足が起きたりして、日中に激しい眠気をきたしたり、疲れを感じる症候群です。

この睡眠時無呼吸症候群が世間の注目を浴びたのは、2003 年 (平成 15 年) 2 月に JR 西日本の運転手が新幹線ひかりの運転中に居眠りし、そのまま約 8 分間 (約 26 キロ) 走り続けたという事件がありました。当初は居眠りによる怠慢事故だったが、その後、どうやらその運転手は、睡眠時無呼吸症候群という一種の病気だったと判明した、と報じられました。普段の日常でも、自動車を運転する職業の人の中で実際に睡眠時無呼吸症候群だったりする人もあるので、現在では職場健診でもチェックされるようになりました。

また睡眠時無呼吸症候群は肥満の人に起こりやすいので、いわゆるメタボリック症候群の仲間にも入るともいえます。実際に潜在的な睡眠時無呼吸症候群の人が多く、継続的に市民に啓発して行く必要があると思います。

真誠会では鳥取県西部では数少ない睡眠時無呼吸症候群の精密検査が出来る医療機関として地域での役割を果たしたいと思います。



参加者60名の皆さんが熱心に聞いて下さいました



実際にCPAPの機械を使っての説明をしました

### 公立八鹿病院 近藤清彦先生講演会

## 「こころに響く医療と音楽」



平成 20 年 11 月 11 日 (火)、公立八鹿病院脳神経内科 近藤清彦先生にお越しいただき「こころに響く医療と音楽」と題して講演をしていただきました。

近藤先生は神経難病の一つである筋萎縮性側索硬化症 (ALS) に対する院内の ALS ケアチームをつくり、在宅でも安心して呼吸器をつけた医療支援体制を実践しておられます。また、在宅医療に積極的に音楽療法を取り入れて患者さんに対して質の高い在宅医療を提供する取り組みをしておられます。近藤先生は自らハーブを奏でながら歌ったり、あるいは音楽療法士を在宅医療に積極的に取り入れる活動を行っておられます。日本でもこの領域での先駆者であり、指導者でもあります。

講演会では人工呼吸器をつけた ALS の患者さんが近藤先生の在宅音楽療法に励まされて前向きに生きているシーンなどが映像で紹介され真誠会のスタッフも感動しました。

このところ真誠会セントラルクリニックでも人工呼吸器をつけた神経難病の患者さんが多くなってきているので勉強になりました。

講演会の最後は先生のハーブの伴奏で「赤とんぼ」を斉唱して和やかに終わりました。



### 真誠会で取り組んでいる音楽療法

## 真誠会合唱団インスパイア

真誠会セントラルクリニックでは患者さんの心に安らぎを提供するために合唱団インスパイアを結成しました。と言っても、必要なときにその時の勤務しているスタッフ

が集まって患者さんのベッドを取り巻き、一緒に歌うだけのことです。

それでも患者さん一人一人に合った曲と一緒に歌いますので、患者さんにとっても喜んでいただいています。難病患者さんの心の中は、苦しみ、悩みでいっぱいだと思いますが、スタッフが下手なりに一生懸命歌えば少しの時間でも苦しみ、悩みから解き放たれる時間を持っていただけるはずだと信じています。

また同時に患者さんとスタッフが精神的に固く結ばれて、確実にお互いの信頼感が高まります。またセントラルクリニックでは 3 年前から毎週金曜日の 14 時には患者さんたちと一緒にホールの真ん中に集まり、一緒に歌をうたうことが恒例になりました。選ばれる歌は童謡、唱歌が多いのですが、退院、誕生日を祝う曲も歌います。このときには病院中に明るい歌声が響きます。

このコーラスグループ: インスパイアは平成 20 年の真誠会の忘年会で初めて全職員の前で、「きよしこの夜」「夢をあきらめないで」を披露し職員全員と一緒に歌い忘年会の最後を盛り上げました。



# 第4回弓浜助け合いネットワークシンポジウム開催 ～弓浜から発信！認知症への取り組み～

平成 20 年 11 月 30 日 (日)、弓浜ホスピタウン 2000 年ホールにて弓浜 6 校区の地域の方々 (約 350 名) が集まり、「第 4 回弓浜助け合いネットワークシンポジウム」が開催されました。

弓浜助け合いネットワークシンポジウムとは、少子高齢社会のなか弓浜 6 校区において助け合いのネットワークづくりを行っており、年に 1 回の情報交換、活動状況の発表の場でもあります。

シンポジウムでは、「認知症への取り組み」というタイトルでそれぞれの地区における、(主にいきいきサロンを中心とした) 認知症に対する取り組みが発表されました。発表者は 6 名あり、内容、発表態度ともに充実し、年々レベルが向上してきています。また、発表を通してわかることは、認知症に対する知識が非常に高まり、実際の取り組みも具体的なものになってきています。住民の方々も、各校区、地区での活動がこのような場で発表されお互いの活動状況がわかることの重要性を再認識されました。

今回は初めて鳥取大学医学部保健学科生制御学教授 浦上克哉先生のご出席があり、先生から弓浜地区での認知症へ先進的な取り組みについて高い評価の講評をいただきました。浦上先生のこの高い評価は弓浜地区の皆様への何よりの励ましになり、今後の更なる活動に対してモチベーションの向上につながると信じております。

また今回の「弓浜宣言 2008」は、地域の住民の決意を表明した画期的なものと思います。



「弓浜宣言 2008」で認知症になっても安心して住める街づくりを誓いました



鳥取大学医学部保健学科 浦上先生にもご出席いただきました



**弓浜宣言 2008**

1. 私たちは認知症に対してやさしい街づくりをします
2. 私たちは認知症の予防と早期発見に取り組む街づくりをします
3. 私たちは認知症になっても安心して住める街づくりをします

## 老健施設における食事時の光景からみえるもの

今春より、介護老人保健施設ゆうとぴあに勤務して 9 ヶ月が経ち、年の瀬を迎えました。

開業医時代と違い入所者さんの健康管理を担う立場となり、食事時間に遭遇する機会が多くなりました。私も両親が 80 代後半となり、父親が車の運転を止めたので月に数回ですがスーパーでの買い物に付き合う機会があります。今まで無縁であった食料品事情を垣間見ると、実家における高齢者家庭の食卓事情、食事量や献立の変化に気づきます。また昼食は職員給食で入所者さんと同じメニューを食べていますが、嗜好が順応しておいしく食べているのは、歳を重ねた証かもしれません。

施設における食事は、寝たきりのため移動できない入所者さんを除いては、広場のスペースで全員がそろって食します。この光景は小学校時代の学校給食を思い出しますが、やや趣が違います。学校給食は育ち盛り特有の、ひとたび事が生じれば共鳴しながら増強するような喧騒の中にあつたような記憶がありますが、高齢者の場合には静寂と乱雑さが混ざる不安定性に満ちた空間のように感じます。

入所者の介護度は多岐にわたり、右半身麻痺のため左手での食事、嚥下障害や自力での食事が困難となり流動食や食事介助がなされ、糖尿病によるカロリー制限、透析患者の塩分・水分制限など個々の事情に応じた特別食ありと、食事の献立も、食べ終わる時間も各人各様です。特別食の入所者さんに同情して、入所者さん間で糖尿病や人工透析の人にお菓子やオカキなどを譲ってあげるなど、世間で日頃繰り広げられている光景がみられます。しかし食事においても入所者さんの満足度と医療上の安全性が求められており、好意を傷つけることなく、友好な関係が保たれるよう配慮したいものです。

今年もどうぞよろしくお願ひします。



## 老人保健施設の日常



介護老人保健施設 ゆうとぴあ

施設長 中下英之助

# 辻田耳鼻咽喉科



辻田耳鼻咽喉科  
院長 辻田 哲朗

## キリシタンの白い花

もう7年ほど前になりますが、ホスピタウン便りに「辻田家の謎」というタイトルでボク自身のルーツについて書いたことがあります。「ボクの父の生家は佐賀県の嬉野町という山合いの田舎町のさらにそれから山奥にある部落で、そこはその昔隠れキリシタンの里だった。辻田という姓の由来は自分たち一族がかつてキリシタンだったということの後世にまでに残すために十字架を表す「十」という字を入れた。」というそんな内容でした。それをホームページに掲載してそのままにしていたのですが、最近になって三重県に住む人の目に留まり、とても興味ある内容だから小説の題材にさせてくれとのメールが来ました。喜んでOKしたところ、ほどなくして「キリシタンの白い花」というタイトルの短編小説が届きました。その小説のあらすじはこうです。主人公はある教会の牧師で信者に辻田悠子という人がいて、彼女は末期がんを病んでいてその人が主人公のところへやってきて来て、自分の過去のことを話し始めることから物語は展開していきます。そしてその人は白い寒ランを大切に育てていて、それは隠れキリシタンだった自分の遠い先祖たちがずっと育ててきたもので、佐賀県の嬉野町から、四国の宇和島を経て三重の地にまで流れ着いてその間も絶やさずに大切に守り育ててきたものだから、自分が死んでもどうかこの花を大切に育ててほしい。というような内容でした。その小説を読むと、まるで本当にボクの先祖の人たちが迫害を受けながらも決して屈することなく歩んできたかのような気になってしまいました。そういえば父の生家がある嬉野町の山奥には泉があってその名前は「大刀洗いの泉」と言われています。キリシタンを処刑した後にそこで刀を洗ったとの言い伝えです。やはり、ボクの先祖の人たちは苦難の歴史を歩んだに違いありません。

また母方のルーツをたどると嘘かホントか、百済から渡って来た渡来人の女性にたどり着きます。日本人には多かれ少なかれそのルーツには大陸から渡って来た人の血が流れているのは考えてみれば当たり前のことですが、その証拠のようなものを目の前に見せられると改めて自分のルーツについて考えさせられます。韓国語を勉強していていつも思うのですが、韓国語のイントネーションは九州弁によく似ています。だから、韓国語を話すときにはあまり抵抗がありませんし、韓国に行ってもなぜだか外国だという気がしません。不思議だなと思っていました。そもそもボクがなぜ韓国語に興味をもって勉強を始めたのかも実はよくわかりません。ボクの体に流れている朝鮮半島からやってきた遠い先祖の血がそうさせたのかもしれない。

ボクが今こうして生きているのもたくさんの先祖の方のおかげだと改めて思いますし、それよりも一体生きるって何なのかを考えさせられます。

今年は久しく行ってない嬉野町にある両親の墓参りをするつもりです。普段は忙しさにかまけてあまり考える余裕もありませんが、皆さんもたまには立ち止まって、自分自身のルーツのことを振り返って見てみるのもまた新しい自分に出会えるのではないのでしょうか？

# いえはら 歯科



いえはら 歯科  
院長 家原 猛

## 2009 年 年頭のご挨拶

2009 年新年明けましておめでとうございます。

しかし、今年は軽々しくおめでとうございます。とは、言いにくい気がしています。

昨年来から、アメリカのサブプライムローンの破綻に端を発する不動産バブルの崩壊と、膨大な規模に膨らんだ金融派生商品市場の破綻によるアメリカ消費市場の急激な収縮は、原油価格の異常高騰を前振りに、著しい景気衰退を惹き起こし、予想以上のスピードで全世界に波及しました。100 年に一度級の大恐慌だそうです。わが国においても、株の大暴落、そして急激な円高も加わり、極めて優等で技術水準の高い輸出産業（自動車、電気機器など）を直撃し、年次の収益は大きく下方修正を余儀なくされています。生産調整の中で人員削減の対象として非正規・派遣という雇用形態に苦しむ人々がたくさん発生しそうです。また、多くの銀行でも資産の含み損から融資が困難で、中小零細企業の経営の益々の悪化が懸念されています。大変深刻な事態です。

そんな中、“Yes we can change!” を掲げて、アメリカ大統領選挙でバラク・オバマ氏が当選を勝ち得たことは、とても明るい材料と感じています。環境問題に不熱心であったり、誤った武力行使・派兵をしてきた前大統領とは違った見識で、一国主義に陥ることなく、良識ある連帯のできる世界の主要国アメリカを再建してほしいと思います。

深刻な事態の日本の経済、そして政治。大きく揺れる一年になるかもしれません。

まさに今年は牛歩の如く、落ち着いて一步一步確実な歩を進めることを大事にする一年にしたいと思います。

皆様のこの一年の御健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

## 弓浜ホスピタウン施設長より 新年のご挨拶



介護老人福祉施設ピースポート  
施設長 藤本 昌弘

新年あけましておめでとうございます。

今年は元旦に雪が積もり新鮮な気持ちで正月を迎えることができました。平成 21 年の新春にあたりご挨拶を申し上げます。

平成 12 年 4 月 1 日から始まった介護保険制度も 10 年の区切りの年を迎え、介護福祉に携わる私どももいたしましても改めて介護保険制度の精神を思い返し、加齢により要介護状態になられた皆さんがお持ちになる能力に応じた自立した生活を送ってもらうためのお手伝いを誠心誠意つとめさせていただくことをお約束し、ご挨拶とさせていただきます。



介護老人保健施設弓浜ゆうとぴあ  
施設長 五明田 孝

明けましておめでとうございます。

内外とも大変厳しい年明けとなりました。

昨年末の時点で、鳥取県の人口は 59 万人台に減少し、老化率も 25.6% となり 4 人に 1 人がお年寄りという状況になってきています。

経済不況の中にあっても、介護福祉の充実を期待する声は大きくなって来ています。

今年は丑年ではありますが、牛歩であっても着実に前進し、世の中が明るい方向になってほしいものと願っています。

今年もよろしく願います。



# 平成21年



小規模多機能センター真誠会ふる里  
看護師長 奥田 那美恵

地域密着型事業所「ふる里」は、お蔭様で地域の皆さまと他事業所の皆さまに支えられて幸せな新年を迎えることが出来ました。

今年は地域の皆さまに頼りにされる「地域の心のふる里」「助け合いの里」「愛と希望の里」になるよう、職員一同積極的な行動の年にしていきたいと思います。何卒よろしく願い申し上げます。



介護老人保健施設ゆうとびあ  
看護師長 村上 信子

本格的な高齢社会を迎え、ますます社会的意義が高くなってきた介護の仕事。

老健施設で師長として働かせていただき2年となりました。89名のご利用者様をお世話させて頂き、日々忙しく働いています。

老健施設は「家庭復帰施設」、「中間施設」です。ゆうとびあでは年4回の家族会を実施しています。今年のテーマは「在宅復帰」です。毎回ご家族参加型の介護教室を企画し、在宅生活を送っていただく為の不安を少しでも取り除いていただけるよう頑張っています。利用者様の笑顔に満ちた表情はご家族様と触れ合う時が一番です。ご家族様の愛に勝るものはありません。今年は職員一同、ご家族様との関係作りを最も大切に、二人三脚で前に進んでいきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



在宅福祉センター真誠会  
看護師長 小徳 美千子

在宅福祉センターは昨年一年、「職員が誇りを持って働ける職場」「地域に愛される事業所」を目指して参りました。皆様のお陰で、この殺伐とした事件の多い中で在宅福祉センターは皆様に明るさと、安らぎをお届けできたと思っています。

新たな年を迎え、「きらりと光るセンスの良い事業所」を目指しChangeとChallengeの精神で、職員一人一人が成長し、それが仕事の質、さらには真誠会の質の向上に貢献できるよう努力して参りたいと思います。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ケアハウスリバーサイド  
看護師長 矢倉 ツヤ子

「何となく今年は良いことあるごとし元日の朝晴れて風無し(石川啄木)」おかげさまでケアハウスも創立8年目を迎え、入居の皆様もお元気に新年をお迎えすることができました。ケアハウスは高齢者の方が安心して生活が継続できるよう食事付き、お風呂付きの暮らしや、健康面の相談及び福祉サービスを提供する住宅です。健康体操、音楽、園芸、散歩、環境クリーン活動、地域ボランティアとの交流買い物ドライブ、介護予防や健康教室、通所介護やリハビリ等々、忙しい中にも豊かな時間を過ごしておられます。私たち職員も「良い1日だった」「良い1年だった」「良い人生だった」と思っていただけのように今後も努めて参りたいと思います。今年もよろしく願いいたします。



介護老人保健施設弓浜ゆうとびあ  
看護師長 絹川 裕子

新年明けましておめでとうございます。皆様お揃いで、おだやかな正月をお迎えの事と存じます。老健施設のケア目標は退所後の生活作りです。入所者様の意思や人格を尊重し家族様とケア方法を一緒に考え、また、一緒にケアが提供できればと職員一同一丸になって努力してまいりたいと思います。牛歩のように確実に大地を踏みしめながら時には闘牛のように熱い思いで直進してまいりたいと思います。今年もどうか宜しくお願い申し上げます。



真誠会セントラルクリニック  
看護師長 井澤 美恵子

医療・福祉のビジネス活動の外部環境は非常に速いスピードで変化しています。その急激な変化に敏感にそして適切に対応していくには、職員個々人が日頃から「情報のアンテナ」を高くして、取り巻く環境を把握しておくことが重要とされています。当真誠会は、小田理事長が「生きた医療・福祉の見方や、最新の動向」をわかりやすく解説し発信されます。私達職員は、森本副本部長の指導のもとその発信された情報や方向性を、自分の事業所業務と関連づけて考え行動しています。しかし、クライアントの満足度につなげていくにはまだまだ私自身力不足を感じています。新しい年を迎え、小田理事長の発信される情報をもっと自分の業務に関連づけるスキルを身につけ、真誠会セントラルクリニック、真誠会グループをご利用くださいますクライアントの皆さんに、更に満足していただけるよう努力していきたいです。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 夢・目標・抱負



通所リハビリテーション真誠会  
看護師長 佐平 登志美

通所リハビリテーション真誠会をご利用頂き、又、常日頃よりご協力を頂き誠にありがとうございます。現在の、私たちを取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。しかし、こういう時であればあるほど、真誠会の力を発揮する時です。真誠会の理念である「愛と謙虚さ」をもって、多くの方に感動のあるサービスの提供を目指したいと思います。今後更に、利用者、その家族の方々に安心していただけるサービスの提供に努めてまいります。本年も、よろしくお願いいたします。



訪問看護ステーションネットケア  
所長 岡田 悦子

来年の強いイメージの寅年を前に、丑年の今年は充電期間なのでしょうか？いえいえそんなわけにはいきません。今では医療ニーズの濃い方々も、支援を受けながら我が家で生活ができる時代になりました。私達の技術や知識もフル回転、様々な視点からアセスメントし、看護を展開していきます。「我が家で過ごしたい！」というお気持ちがあれば、在宅生活をサポートして参ります。真誠会では訪問診療の体制を強化しています。訪問診療と訪問看護を中心に、在宅でのよりよい生活を支援させていただきます。我が家で過ごしてみませんか？



訪問介護弓浜真誠会  
事業責任者 栞見 紀子

昨年は、「変」という漢字が世相を表したように世界的な経済変動をはじめ、いろいろ大変な事が起こりました。私自身も昨年は入社してから、変動の中をあっという間に過ごした10ヶ月でした。エネルギッシュな職員の方々に圧倒されながら、日々学ぶことばかりでした。利用者様からもたくさんのお話を学びました。利用者様が安心して在宅生活を送れるように、職員一同サービスの質の向上を目指していきます。本年もご指導ご鞭撻頂きますようどうぞ宜しくお願いいたします。



健診センター  
副センター長 佐藤 智明

昨年産声をあげました健診センターも、お蔭様で2年目を迎えます。今年は健診の体制をさらに強化し、信頼される健診機関をめざして職員一同協力して参ります。さらに、当センターは医療・福祉の複合体をバックにした保健部門として、健診をうけていただく企業の職員とご家族への情報提供を始め、総合的な相談の窓口として貢献できることを願っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



ケアプランセンター弓浜真誠会  
看護師長代理 東 二葉

日頃より、地域の皆様には大変お世話になっております。勤務先は弓浜ですが、私の住まいは河崎です。日頃より地域であるいは、セントラルクリニックで、「久しぶりだな、最近は姿みせならんが、何処に行きなつた」と親しみたつぷりに声をかけて頂き、大変嬉しく思います。もし介護が必要になっても、住み慣れた地域であなたらしい生活を続けられるように、真誠会のケアマネはお手伝いしたいと思いますので、お気軽にご相談下さい。



介護老人福祉施設ピースポート  
看護師長代理 南 悦子

「紐(ひも)」という字は種子から紐が出た状態…「根」のことを意味します。今年のピースポートは『根』の役目の様に職員一同、土(理念、教育 etc) の栄養をしっかり吸収し幹(ケア) に力が与えられるよう努力して参ります。21年度介護保険報酬改定という「紐」にからまない為にも、御利用者様が安全に安心して生活して頂けるように職員一同頑張ってお参りますので引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



透析施設オアシス  
副看護師長 北尾 仁

当透析室は、高齢で社会的にも多くの問題を抱えた患者様や、他施設での受け入れが困難な患者様に対して、透析医療が安心して受けられるような働きかけがなされております。今年度も、鳥取県西部において透析生活に不安を抱えた患者様や、ご家族様の相談窓口として支持されるような透析室を作っていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い致します。





# 平成21年 夢・目標・抱負



業務支援本部  
課長 前田 浩寿

今年は、真誠会グループの内容充実に、貢献できる年にしたいと思います。そのために、私自身のリーダーシップを磨き、事業所のスタッフと共に一丸となって努力して行きたいと思えます。また、自分の仕事の範囲を限定することなく、事務方であっても、利用者に真誠会を利用して良かったと思って頂けるためにはどうしたらよいかを常に考え、見るもの、聞くもの全てを逃すことの無いよう「有意注意であること」を1年の私の目標としたいと思えます。



業務支援本部  
課長 角 琢治

去年の4月から、生活習慣病予防のための健診・保健指導が実施されましたが、日頃の不摂生がたたたり？指導を受ける身となりました。今年は「脱メタボ組」を目指し運動や食生活の改善に励みたいと思えます。

昨年は、真誠会創立 20 周年という、記念すべき年でありました。新しい年も、真誠会にとって更なる飛躍の年でありますように、また皆さんにとっても素晴らしい年でありますよう祈念いたします。

## 第13回ホスピタウン交流会in熊本に参加して

平成 20 年 11 月 15 日 (土)、16 日 (日) は熊本ホスピタウンで第 13 回ホスピタウン交流会 in 熊本が開催されました。今回は、にしくまもと病院、社会福祉法人福寿会、真星病院、公立出石病院、米子ホスピタウン真誠会の参加がありました。

11 月 15 日には公立出石病院 阿江竜介先生の「看取りについて～御家族の思いと医療提供側の考えを対比して～」の講演会がありました。内容は、高齢者の栄養の管理、口腔ケアなどの大切な、胃瘻栄養の意味づけ、また尊厳死ということについてのお話でした。

同日の夜はホテルニューオータニで、懇親会が開催されました。

翌日は、社会福祉法人福寿会の施設見学をしました。今回は数年ぶりの見学でしたが、その積極的は事業展開とスタッフの暖かい対応に非常に感銘を受けました。

次回のホスピタウン交流会は、平成 21 年 10 月あるいは 11 月に米子ホスピタウンで開催される予定です。



施設の入所者さんと仲良く語り合う、  
にしくまもと病院の林病院長



### 第14回 米子ホスピタウン真誠会 文化展

平成 20 年 11 月 6 日～12 日、第 14 回米子ホスピタウン真誠会文化展が開催されました。毎年のように、ご利用者さん、ご家族の方、各セクション職員からたくさんの作品が出展され、華やかに展示されます。今年も、昨年よりバージョンアップした作品ばかりで、ところどころで「すご～い！」の連発でした!! オープニングセレモニーでは河崎小学校の皆さんが元気な歌声を披露してくださいました。合唱の最後には、ご利用者の皆さんとの手遊びもあり、とてもいいふれあいの機会となりました(^-^)

利用者さんが子どもたちに手を引かれ作品を見て回りました

河崎小学校の皆さんが合唱を披露してくれました♪



文化祭の始まりです^0^

### 第7回 弓浜ホスピタウン ふれあい文化展

平成 20 年 11 月 20 日～26 日、米子ホスピタウンに引き続き弓浜ホスピタウン 2000 年ホールにて、第 7 回弓浜ホスピタウンふれあい文化展が開催されました。オープニングセレモニーでは、崎津小学校 4 年生の皆さんが、合唱と合奏を披露してください、ご利用者の皆さんも音楽に合わせて手拍子で盛り上がりました。その後、ご利用者さんたちは生徒さんの紅葉のようなかわいい手に引かれ、一緒に作品をご覧になりました。今から、来年の文化展が楽しみです♪

オープニングセレモニーの様様です♪



みんな上手だね～!



たくさんの作品を出展していただきました

### 鳥取大学室内管弦楽団 演奏会

平成 20 年 11 月 22 日、米子ゆうとびあ広場(河崎)において、鳥取大学室内管弦楽団による演奏会が開催されました。毎年、この時期に演奏会を開いてくださいます。サンタクロースやトナカイなどいろいろな格好をした皆さんが、普段目にすることに出来ない様々な楽器を演奏してくださいました。ご利用者の皆さんもうっとりしてしまうくらい、きれいな音色で、とても穏やかなひとときを過ごすことができました(\*^-^\*)

きれいな音色でした♪

皆さんもタンバリンを持ってノリノリです☆



### 特設人権相談所の開設 育てよう 一人一人の人権意識

米子市人権擁護委員協議会から依頼があり、人権週間に合わせて平成 20 年 12 月 9 日(火)の一日のみでしたが、当法人の施設内に人権相談所を開設しました。施設の利用者の方、そのご家族、職員が対象で、人権相談や各種悩み事を米子市人権擁護委員の方が聞き、助言をいただける相談所です。人権問題と一言でいってもたくさんあります。男女差別による人権、子どもの人権、高齢者をめぐる人権、障害者の人権、部落差別の人権、外国人の人権 etc...

人権啓発のために分かりやすいビデオ上映があったり、人権擁護委員による紙芝居、歌による交流もありました。

今後も職員一同、人権意識を高め思いやりの心をもって一人一人の人権の重要性を理解していきたいと思えます。



人権イメージキャラクターの人KENまもる君も登場

# 情熱ある 医師募集!

地域医療は社会を支え、  
社会を救う

地域医療に夢と情熱を託したい  
医師を探しております。  
私たちと一緒に新しい地域医療を  
切り開きましょう。



医療法人真誠会では情熱のある医師を募集しております。

出来れば消化器系の経験のある先生を望みますが、基本的には地域医療、あるいはこの厳しい医療情勢のなかで自ら新しい地域医療、チーム医療を私とともに切り開いて行く情熱と夢を持っていらっしゃる医師を募集しています。

殆どの医師は各科専門医療、救急医療、あるいは先端医療に興味をお持ちかもしれませんが、病院の医療が次第に救急医療に絞られる一方で、逆に亜急性、慢性医療、リハビリテーション、ターミナルケア、在宅医療、予防医療、介護予防といった領域は今以上に広くそして重要な領域になってきています。

真誠会では IT を駆使した医療福祉ネットワークを通じて、医療連携、病診連携を行っており、鳥取大学医学部附属病院をはじめ、たくさんの病院から多彩な病気、難病の患者さんをご紹介いただき、高いレベルの病院の後方支援的医療、高齢者医療、医療福祉を行なっています。

これからもっともっと大切になってくる地域医療に興味、情熱を持っていらっしゃる医師（自薦、他薦）をお待ちしております。

詳しくは、医療法人真誠会、社会福祉法人真誠会についてホームページを開いていますので、ご覧下さい。検索のキーワードは「ホスピタウン」、あるいは「真誠会セントラルクリニック」です。

お気軽にお問合せ、ご連絡をお待ちしています。

皆様の身近に地域医療に情熱のある医師、あるいは米子に U-TURN 希望の医師をご存知でしたらご紹介くださいませ。



真誠会セントラルクリニック ☎ 0859-29-0099  
E-mail: hos19328@orange.ocn.ne.jp